

## 総合的な学習の時間 「福祉体験」手話グループ

平塚市立山城中学校



### 単元（題材）目標

- 車いす体験、高齢者体験、誘導法体験、手話、点字の中から1つ選択し、福祉について理解を深め、思いやりの心を育てる。
- 車いすバスケットボールの選手を招き、実際に車いすバスケット体験に参加させてもらい、多様な生き方について学ぶ。

### (1) 実施時期

10月～12月

### (2) 対象（学年等・人数）

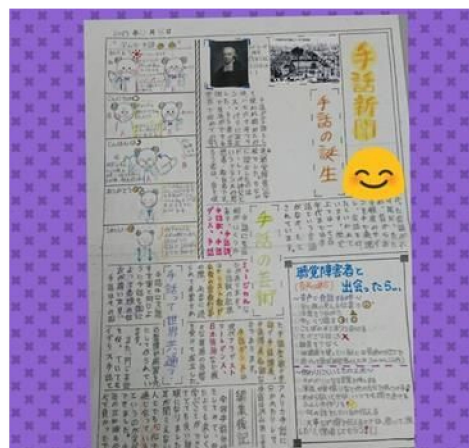
第2学年 16名

### (3) 指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭 : 第2学年所属 2名

外部講師 : 6名（市内の手話サークルより）

手話以外の講師 他多数



### (4) 実施内容

- ① 事前指導：講演会「福祉について」（学年全体へ・社会福祉協議会の方より）
- ② グループごとの事前指導：手話グループ対象に映像資料やプリントを使い、指文字、簡単な挨拶、数字、自分の名前などについて実践した。
- ③ 手話体験：講師を招いて、手話実践（11月16日）
  - ・講師6名（うち1名聴覚障がい者の方）
  - ・聴覚障がい者の方のお話（聞こえなくなった理由・日常生活・家族について）
  - ・簡単な挨拶・会話・似ているけど違う意味の表現・全員の名前（苗字）
  - ・質疑応答（あらかじめ用意した質問をしました）
- ④ まとめ：お礼状作成・新聞作り（個人）

### (5) 成果

- 手話は手を動かせば伝わると思っていた生徒もいたのだが、実際に手話で会話する中で、表情や気持ちを伝え合うことが大切だと気付くことが出来ていた。
- 自分の名前（苗字）の手話表現を知り、嬉しそうにしている生徒が多かった。

### (6) その他

今後も継続して福祉について触れる機会を持てるように意識していきたい。